

# 2018/07/08の定期メンテナンスにおける kintone API更新情報(2018/06/08)

2018年7月8日の定期メンテナンスの、kintone APIの更新に関する情報をお知らせします。

お知らせの内容に追加、変更等ありましたら、こちらのコメントにて変更箇所を追記します。

また、APIドキュメントには仕様を順次公開していきます。

## kintone REST API

### 修正される不具合

- **レコードの一括取得 (クエリで条件を指定)** APIのクエリで、「言語ごとの名称」で設定したステータス名を指定するとエラーが発生
  - 修正内容:  
プロセス管理のステータス名に「言語ごとの名称」を設定し、レコードの一括取得APIの「query」パラメータで、設定した言語のステータス名（アカウントの言語設定と同じ言語）を指定して取得するとき
    - 修正前：エラーが発生して、取得できない
    - 修正後：正常に取得できる
- **アプリの一覧の設定の取得**APIで取得した関連レコード.ドロップダウンの項目が多言語対応されない
  - 修正内容:  
関連レコード一覧内のドロップダウンフィールドに「言語ごとの名称」を設定し、アプリの一覧設定の取得APIで、設定した言語を「lang」パラメータで指定して取得したとき
    - 修正前：「lang」パラメータが無視される
    - 修正後：「lang」パラメータが反映される

## kintone JavaScript API

### 仕様変更

- イベント処理を、カスタマイズ JavaScript として登録されたスクリプトが読み込まれるタイミングに、同期的に登録しない場合に警告表示
  - 対象イベント：

- [レコード表示イベント](#) app.record.detail.show
  - [レコード追加イベント](#) app.record.create.show
  - [レコード編集イベント](#) app.record.edit.show
- 変更内容:
- 対象のイベント処理を、カスタマイズ JavaScript として登録されたスクリプトが読み込まれるタイミングに、同期的に登録しない場合
- 変更前：警告なし
  - 変更後：ブラウザのコンソールに警告を表示
    - 対象画面：
      - レコード詳細画面
      - レコード作成画面
      - レコード編集画面
      - レコード再利用画面

詳細については以下の記事をご確認ください。

[イベントハンドラー登録の適切なタイミングについて](#)